

創立100周年記念連続シンポジウム | 最終回 | グローバル社会に生きる女性のエンパワーメント

女子大学の 新たな使命

2018 11.2 金 13:15-16:25

入場無料
定員500名

会場 東京女子大学 講堂

どの大学、どの学部でも女性が学ぶことができるようになった今日において、女子大学の存在意義はどこにあるのか。多様な観点から21世紀における女子大学の社会的役割を正面から問い直す。

第I部 13:15 ▶ 14:45

基調講演

21世紀が求める
女子大学

湊 晶子

広島女学院院長・学長
東京女子大学元学長



基調報告

日本女子
大学



学長代行
大場 昌子

津田塾
大学



学長
高橋 裕子

東京女子
大学



学長
茂里 一紘

第II部 14:55 ▶ 16:25

問題提起

現代日本社会における
女子大学の意義

田中 俊之

大正大学心理社会学部
准教授



パネルディスカッション

| パネリスト | 大場 昌子・高橋 裕子・田中 俊之
湊 晶子・茂里 一紘

| ファシリテーター |

栗田 啓子
東京女子大学現代教養学部教授



お申し込み：裏面参照

グローバル社会に生きる女性のエンパワーメント

女子大学の新たな使命

Profile



みなと あきこ

湊 晶子 (広島女学院院長・学長、東京女子大学元学長)

1932年生まれ。東京女子大学卒業。フルブライト奨学生としてホイートン大学大学院(神学修士・2008年名誉博士)、ハーバード大学客員研究員、東京女子大学教授・学長を経て、現在に至る。2005年第2回新渡戸・南原賞受賞。2010年瑞宝中綬章受賞。



おおば まさこ

大場 昌子 (日本女子大学学長代行、同大学文学部英文学科教授)

日本女子大学卒業。同大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程前期修了。2009年より同大学教授。この間、米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校客員研究員。専門は20世紀アメリカ文学。著書『ゴーレムの表象—ユダヤ文学・アニメ・映像(分担執筆・共編者)』南雲堂(2013年)等。



たかはし ゆうこ

高橋 裕子 (津田塾大学学長・同大学芸学部英文学科教授)

1980年津田塾大学英文学科卒業。1984年筑波大学大学院修士課程修了。米・カンザス大学大学院にて1983年M.A., 1989年Ph. D.取得。2004年津田塾大学教授、2016年より学長。専門はアメリカ社会史(家族・女性・教育)、ジェンダー論。アメリカ学会会長。



もり かずひろ

茂里 一紘 (東京女子大学学長)

1967年東京大学工学部卒業。1972年同大学院工学研究科博士課程修了(工学博士)。広島大学教授、同大学工学部長、副学長、広島工業大学学長、(国研)海上技術安全研究所理事長などを歴任。2018年4月、東京女子大学学長に就任。



たなか としゆき

田中 俊之 (大正大学心理社会学部准教授)

1975年、東京都生まれ。博士(社会学)男性学を主な研究分野とする。著書『男性学の新展開』青弓社、『男がづらい—絶望の時代の希望の男性学』KADOKAWA。「日本では“男”であることと“働く”ということとの結びつきがあまりにも強すぎる」と警鐘を鳴らしている。

Access



お申し込み



◀ こちらのQRコードから、または
empower-sympo@lab.twcu.ac.jp
からお申し込みください

アクセス

■JR西荻窪駅北口より徒歩12分

■バス利用の場合

- ◎西荻窪駅北口(1番のりば)から吉祥寺駅行「東京女子大前」下車
- ◎吉祥寺駅北口(3番のりば)から西荻窪駅行「東京女子大前」下車
- ◎上石神井駅南口から西荻窪駅行「地藏坂上」下車徒歩5分